

自治体名

埼玉県さいたま市

施設名称

桜環境センター

施設能力

竣工：2015年（平成27年）
処理能力：380トン/日

施設概要・余熱利用方法

- 施設概要
熱回収施設（ごみ焼却施設）、リサイクルセンターのほか、環境啓発施設や、ごみを焼却する際の熱エネルギーを回収して利用する余熱体験施設などを整備しており、ごみを処理するだけでなく、循環型社会を楽しみながら体感することができる。
- 余熱利用施設（3Fと4F）
余熱体験施設の大浴場やウォーキングプールにも熱エネルギーを利用。
- 環境学習施設（1Fと2F）
楽しみながら3Rについて学習することができる施設や「ビオトープ」を活用した体験型・参加型の環境啓発プログラムを実施。



施設外観



余熱利用施設



環境啓発施設

自治体名

東京都板橋区

施設名称

板橋区エコポリスセンター

施設能力

竣工：1995年（平成7年）
環境学習施設

施設概要・余熱利用方法

- 施設概要
総合的な「環境学習施設」という名称では全国に先駆けとなる施設。「環境」について、触れて、感じて、学んで、いつのまにか今より詳しくなれる場所。「ちょっと休憩♪」での利用もでき、ゆっくりしながら、身近なエコへのヒントが学習できる。運営は、指定管理者（板橋エコみらいプロジェクト）で民間が運営している。



施設外観



環境イベント風景



出前事業（やごについて）

自治体名

猪名川上流広域ごみ処理施設組合
(兵庫県川西市・猪名川町・大阪府豊能町・能勢町)

施設名称

国崎クリーンセンター
環境楽習館「ゆめほたる」

施設能力

竣工：2009年（平成21年）
処理能力：235トン/日

施設概要・余熱利用方法

- 施設概要
灰溶融炉、リサイクルプラザ啓発施設・環境楽習館「ゆめほたる」併設。日本一の里山である「黒川地域」に属し、豊かな自然の中でごみ問題をはじめとする環境問題について、次世代を担う子どもたちを中心に啓発事業を展開。啓発施設では、実際のごみ処理工程の見学を通じて環境問題を考えたり、再生ゾーンを通じてそれぞれで環境問題に取り組むヒントを得ることができる。



施設外観



分解ワークショップ



リサイクル工房

自治体名

愛知県豊田市

施設名称

渡刈クリーンセンター
環境学習施設「eco-T」

施設能力

竣工：2007年（平成19年）
処理能力：405トン/日

施設概要・余熱利用方法

- 施設概要
流動床式熱分解ガス化溶融方式、熱エネルギーは老人福祉施設にも供給。資源化施設、リユース工房、環境学習施設（eco-T）併設
- 環境学習施設（eco-T）
渡刈クリーンセンターに併設されているため収集されたごみの行方を実際に見学することができ、エコライフを楽しく学ぶための体験型のプログラムを用意。市民が主体となって・NPO・行政が共働で運営。インタープリターとコミュニケーションをとりながら、楽しく環境について学ぶことができる。



施設外観



学習プログラム



環境啓発施設

●防災拠点型

自治体名

ふじみ衛生組合
(三鷹市、調布市)

施設名称

クリーンプラザふじみ

施設能力

竣工：2013年（平成25年）
処理能力：288トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

施設の周辺は、隣接する三鷹市役所をはじめ事務所・商店・住宅などが集中する市街地だが、施設内に多くの緑地を設けるなど、地域環境と調和した潤いのある空間が創り出されている。

●余熱利用方法

平成28年度より、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ（市役所東）において、クリーンプラザふじみで余熱を利用して発電された電力と温水の供給を実施する予定。この施設は、災害時には災害対策本部などを設置し、公園が一時避難場所になるなど、施設全体が災害対策の拠点施設として機能する。



施設外観



三鷹中央防災公園



SUBARU総合スポーツセンター

自治体名

東京都武蔵野市

施設名称

新武蔵野クリーンセンター
(仮称)

施設能力

竣工：2018年（平成30年）予定
処理能力：120トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

新武蔵野クリーンセンター(仮称)は、ごみ発電設備だけでなく、ガスコージェネレーション設備も設置し、電気と蒸気を発生させ、クリーンセンター内で使用するほか、災害時においても、災害対策本部となる市役所、緊急物資搬送拠点となる総合体育館、地域支え合いステーションとなる緑町コミュニティセンターへ供給することができる。

○エネルギー供給先

- ・環境啓発施設「エコプラザ」（電力）
(敷地内)
- ・武蔵野市役所（電力、蒸気）
- ・武蔵野総合体育館（電力、蒸気）
- ・緑町コミュニティセンター（電力）
(敷地外)



施設外観



●高効率発電型

自治体名

大阪市・八尾市・松原市
環境施設組合

施設名称

東淀工場

施設能力

竣工：2010年（平成22年）
処理能力：400トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

国は廃棄物分野における更なる温暖化対策推進を目的とした制度の充実および強化の一環として、ごみの燃焼に伴い生じるエネルギーのより一層の有効利用を行う高効率ごみ発電施設に対して、低炭素社会実現の切り札として交付率1/2の積極的な拡充支援を行っている。

東淀工場は、タービン定格点を通常運転時に近い負荷で決定している。また、湿式洗煙方式を採用しているためガス再加熱器での蒸気消費量が大きくなるが、低温エコノマイザ、2段抽気タービン等の採用により、発電効率 20.4%を達成している。



施設外観

自治体名

兵庫県神戸市

施設名称

港島クリーンセンター

施設能力

竣工：2017年（平成29年）
処理能力：600トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

「ストーカ式並行流焼却炉」の採用に加え、高度な排ガス処理システムを導入することで、燃焼時に有害物質の発生を抑える。高温高圧ボイラと排気復水タービンを組み合わせて高い発電効率も実現。

発電効率は高効率(20%以上)を実現し、最大15,200キロワット(約3万世帯分に相当)を発電。

災害時におけるインフラ途絶時に焼却継続(1週間以上)できるなど、より安定的なごみ処理が可能。

白を基調にすっきりとした外観で、夜間にプラント内部の灯りがガラス越しに自然に漏れ出す。



施設外観

●自然共生型

自治体名

大阪府枚方市

施設名称

東部清掃工場

施設能力

竣工：2008年（平成20年）
処理能力：240トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

- ・現敷地内の約45%は緑地として緑化しており、また、敷地に植生していた希少植物を移植し、回復育成している。
- ・ごみピット内の空気は燃焼用に吸引し、エアカーテンと高速シートシャッターをプラットホームの出入口に設け、外気と遮断する事で臭気の漏洩を防いでいる。
- ・工業排水は排水処理設備で処理し、一部は工場内で再利用。
- ・雨水を貯留し、敷地内植栽の散水などに有効利用。



施設外観



希少生物の移植
（自然共生）

自治体名

大阪府豊中市

施設名称

豊中市伊丹市
クリーンランド

施設能力

竣工：2016年（平成28年）
処理能力：525トン/日

施設概要・余熱利用方法

●施設概要

基本方針「森の中の再生工場・3R推進」の実現を目指し、3つの新ごみ焼却施設整備に関する整備基本方針に基づき建設。

- ①環境に配慮した施設
- ②安全で安心な市民に愛され貢献する施設
- ③経済性に優れた施設

●緑化計画

- ・景観上の効果や緑被率の向上に加え、地球温暖化防止へ寄与
- ・景観上の威圧感を緩和し地域に親しまれる存在とするよう、建物への緑化も検討。
- ・市民が訪れたいくなるような魅力。



豊中市伊丹市クリーンランド 新ごみ焼却施設完成予想図